2005 年度 原子核三者若手夏の学校三者総会議事録

2005 年度三者事務局 (名古屋大学)

1　2005 年度三者準備校 (大阪大学) からの報告

1.1　報告

オリンピックセンターから大幅な宿泊のキャンセルを行ったことに対する注意を受けたことが報告された。キャンセルをせざるを得なかった主な理由としては、(1) 宿泊者 = 参加者 の図式が成り立たなくなったこと及び、(2) 参加者数そのものの減少などが挙げられる。

この件に関して質疑応答が行われた。

Q. 参加者の内訳は？

A. 分野別では素粒子パート：１６３名、原子核パート：８９名、高エネルギーパート：１１名。
学年別ではＭ１：１３１名、Ｍ２：６８名、Ｄ１：３２名、Ｄ２：２４名、Ｄ３：５名、
その他：３名。となっている。

Q. 2005 年と 2004 年、2003 年の参加者数は？

A. 参加者数の変移は以下のとおりである。

年	開催地	参加者数
2005 年	東京	263 名
2004 年	木島平	277 名
2003 年	東京	329 名

参加者そのものも年々減少している。

また、『家が近いので通うことになったが、後々に考えると宿泊したほうがよかったと思った』という意見がＭ１の学生から出た。

1.2　三者準備校からの提案

三者準備校から以下のような提案がなされた。

議案１　三者若手会員以外の参加判断について

議案２　基礎物理学研究所への援助申請について

議案３　決算報告について

議案４　荷物の引継ぎについて

議案５　総会の決定事項の明文化

議案６　春秋学会における総会の権限

議案１ については以下のように承認された。

- 三者若手会員以外の参加を認める。
- その場合における旅費の補助については、補助の判断基準を明確に告知することを条件に、三者準備校の判断に任せる。

議案２に関しての本総会での争点は

- 現在行われている現金化のシステムは不健全であると思われるが、今後も現金化を行うのか？

ということであった。
この争点に対して本総会では、まず、現金化の是非に対する採決を行い、現金化は行わないということに決定した。
続いて現金化を行わない代わりに、名目変更を試みることの是非を採決した。その結果、名目変更を試みることに決定した。
しかし過去の例によると名目変更が行えない可能性が高いということなので、『“講師旅費”という名目通りに、講義を行う講師の方々の旅費だけを最低限確保するに留めることにするのはどうか』という意見が出され、この意見に関する採決をとった。その結果この意見に対する承認を得た。
この意見は、今まで学生の旅費補助に当てていた分の予算が減ることになり、個人負担が増えるということを意味する。
本議案に対する本総会での決定及び承認事項は以下の通りである。

- 現金化は行わない。
- 名目変更を試みる。
- 名目変更ができれば良いが、名目変更ができない場合は、講義を行う講師の方々の旅費だけを最低限確保するに留める。
- 援助金の申請額を本年度までの額から減らし、学生への旅費の補助は行わないことになる。
  結果、旅費の補助が少なくなり個人負担が増えることになる。

議案３については三者センター校が決定事項に責任を持つようにするということで承認された。

議案４については三者準備校が必要と考えないものは、その都度三者準備校が自己判断で捨てるということで承認を得た。

議案５については事務局が２００５年度夏の学校三者総会の議事録から、新規に決定されたことを明文化することで承認された。
なお２００５年度夏の学校三者総会以前の決定事項を新たに明文化することはしない。将来、以前の決定事項が必要になったら、その都度新たな決定事項とともに明文化する。

議案６については春秋学会の総会の暴走を防ぐために、
５大学１０人以上が参加しかつその過半数以上の承認が得られれば春秋学会の総会で議決可能である
ということで承認を得た。

2　2005 年度三者センター校（東京工業大学）からの報告

この一年の活動が報告された。
議案書からの修正として、参加費総計が $¥3{,}000$（参加費）$\times$ 263（参加人数）$=¥790{,}000$　であることにより収入合計が **320** 万円となったとの報告があった。
さらに、決算の提出の際に郵送代も決算に入れるようにとの注意があった。
ＤＣアブスト廃止案が三者準備校から提出され、承認を得た。

3　2005 年度三者事務局（名古屋大学）からの報告

この一年の活動が報告された。

事務局の行った役職校の選定に対しての承認を受けた。今回の総会で承認を得た役職校は以下の通りである。

2008 年度三者センター校	名古屋大学
2008 年度三者準備校	東京大学
2007 年度三者事務局	金沢大学
2007 年度三者 ML・HP 管理校	お茶の水女子大学
2007 年度三者名簿校	筑波大学

なお２００８年度三者準備校の東京大学については 8 月３０日現在交渉中である。

4　2006 年度三者準備校（京都大学）からの報告

２００６年度三者夏の学校が 8 月 3 日 ~ 8 日に開催される予定であるとの報告があった。ただし開催地は現在選考中である。決定次第 YONUPA のメーリングリストで知らせる。

5　2005 年度高エネルギーパート準備校（東邦大学）からの報告

高エネルギーパートの参加人数が少数であることを受けて、２００５年度高エネルギーパート準備校から高エネルギーパートを休止するとの報告を受けた。これは、高エネルギーパート総会で決定され、本総会で改めて報告がなされた。